

Title	『アーサー王の死』(1816年)の印刷者Robert Wilks : 未刊行資料から伝記的再構築の試み(その2)
Sub Title	A reconstruction of the life of Robert Wilks, the printer of Malory's Morte Darthur (1816) : Part two
Author	不破, 有理(Fuwa, Yuri)
Publisher	慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
Publication year	2023
Jtitle	慶應義塾大学日吉紀要. 英語英米文学 (The Keio University Hiyoshi review of English studies). No.77 (2023. 3) ,p.95- 141
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10030060-20230331-0095

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

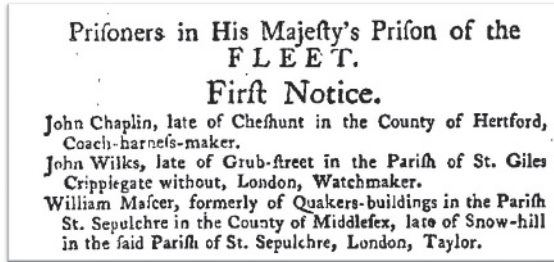
The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

『アーサー王の死』（1816年）の印刷者 Robert Wilks

——未刊行資料から伝記的再構築の試み（その2）

不破有理

本稿はアーサー王物語の珠玉作品サー・トマス・マロリーの『アーサー王の死』（Sir Thomas Malory, *Le Morte Darthur*, 1485年）を1816年におよそ2世紀ぶりに印刷した人物ロバート・ウィルクス（Robert Wilks）について、未刊行資料を発掘し、その生涯を再構築することを第一の目的とする。現代日本のサブカルチャーにおいてアーサー王物語が特異な影響力を発揮していることは、2019年刊行の書籍が如実に示すとおりである¹⁾。そのタイトルは『いかにしてアーサー王は日本で受容されサブカルチャー界に君臨したか——変容する中世騎士道物語』、まさにサブカルチャー界にアーサー王は君臨しているのである。中世から息を吹き返したその物語体系にはマロリーの『アーサー王の死』に負う部分が多い。そして現代に至るまでアーサー王の物語が新たな物語誕生の母体として機能したのは、1634年以来刊行されることがなかった出版の空白を経て、19世紀初頭に『アーサー王の死』のテキストが再登場したこと、それによってより広範な読者を得た事実なしには語れないであろう。ウィルクス（Wilks）版として知られるものの、その編集者ジョゼフ・ヘイズルウッド（Joseph Haslewood）や印刷出版者ウィルクスについての研究は皆無に近い。本稿は、



【画像1】「フリート監獄収監者一覧」
2番目に John Wilks の名がある。

2021年の続編である²⁾。前稿ではロバート・ウィルクスの年季公証文から年齢・徒弟奉公先などについて扱ったが、本稿では新たな資料をもとに補筆しつつ、印刷者ウィルクスの生涯を辿りたい³⁾。そして19世紀初頭のロンドンの印刷文化の一隅を照射することになれば幸いである。

1. ロバート・ウィルクスの徒弟時代再考

ロバート・ウィルクスの年季公証文から判明した略歴をまず確認する。父親の名はジョン・ウィルクス (John Wilks)、息子ロバートがジョン・オルモン (John Almon, 1737–1805) と年季公証文を取り交わした1785年にはすでに死去しており、居住地は聖ジャイルズ・クリップルゲイト (Saint Giles Cripplegate) 教区と記されていた。今回の調査で、あらたに1774年の『ロンドン・ガゼット』に同姓同名の人物が掲載されていることがわかった⁴⁾。

これは1774年7月2日付のフリート監獄 (Fleet Prison) の収監者一覧である【画像1】。フリート監獄とは主に債務者や破産者用の牢獄で、この収監者一覧には仕立て屋や帽子屋、靴職人など様々な職業の者が並ぶ。この一覧に記載されたジョン・ウィルクスはロバート・ウィルクスと年齢的に父子であっても齟齬はない。また年季公証文に記載された父親と同じく、

聖ジャイルズ・クリップゲイト教区在住であることから、この人物がウィルクスの父親である可能性はかなり高いだろう。この告知から新たにわかることは、グラブ・ストリートの時計職人という情報である。グラブ・ストリートといえばロンドンの貧民街に近接する界隈で、湿地帯であったため、疫病が蔓延しやすい地域として知られていた。とりわけクリップゲイトは時代がさかのぼるが、1665年のロンドンで疫病が発生した時には死亡率が最も高い地域であった⁵⁾。住環境が芳しくない地域であったため家賃も安く物書きが集まり、サミュエル・ジョンソンも一時、身を置いた地域である。ジョンソン自身が辞書で定義しているようにグラブ・ストリートは「三文文士」をも意味する。一方、ウィルクスの父親の職業「時計職人」は精巧な技術力を備えていることが想定される職業である。1771年にかのリチャード・アークライトが木綿工場 (Cotton Mill) 第一号をクロムフォードで開設する。現在は世界遺産に登録されている工場である。その際の人員募集広告を同年12月10日の『ダービー・マーキュリー』に掲載しているが、「急募」(Wanted Immediately) と特記したのが「時計職人」である。これは時計職人であればネジの組み合わせ方などの知識と技術を備えているので、新たな発明品である織機を整備する際に必要な技術に対応できると判断されたからであろう。フリート監獄に父親が収監された折には、1770年生まれのロバート・ウィルクスは4歳になるかならないか、まだ幼い時に父親は債務未払いもしくは破産のために収監の身となったことになる。ウィルクスが徒弟入りした1785年にはすでに父親は死去しており、親方に支払われた徒弟金は1ペンスのみであったことから、ウィルクスの幼年期は裕福とは言い難い家庭で過ごしたといえそうである。18世紀末は一大出版ブームで印刷出版業界は花形であった。息子を印刷工というキャリアに進ませたのがもし父親であるなら、新しい時代の注目職種で腕を磨き独り立ちしてほしいという願いをこめていたのかもしれない。

1785年のロバート・ウィルクスの年季公証文については前稿で詳述したが、さらに本稿では公証文に綴じられていた別の一葉について検討した



【画像 2】1790 年ウィルクスとオルモンとの徒弟関係解消を示す文書

い。まず原資料を読み下してみよう。

Be it Rememb[er]ed that at the King's Majesty's Court holden before the Mayor and Aldermen of the City of London in the Chamber of the Guildhall of the said City on Monday the twelfth day of April 1790. It was adjudged that Robert Wilks the Apprentice in the annexed Indenture named should be discharged from John Almon his Master therein also named for that he had left off the Trade of a Printer which the said Apprentice was put to him to learn and that the said apprentice should be turned over to some other Freeman of the said City with whom to serve out the residue of his said Term of Apprenticeship As by the Record of the said Judgment remaining in the said Court appears.

[the signature on the left:]

Rich.d [Richard] Williams

Attorney for the apprentice

[the signature on the right:]

R. Hix[?]

この証文は1790年4月12日にロバート・ウィルクスとオルモンとの徒弟関係が解消されたことを告げている。その理由は親方ジョン・オルモンが印刷業を廃業したため、残りの徒弟期間は他のシティのメンバーでフリーマン(徒弟期間を経て、自立し、親方業を営むことを認められた者)によって引き継がれるべし、と証文は語る。左側には徒弟ウィルクス側の代理人リチャード・ウィリアムズの名が記されているが、右側の署名は判読が難しい。ウィルクスが徒弟に入った翌年1786年にオルモンは時の首相ウィリアム・ピット(William Pitt, the Younger, 1783-1801)への名誉棄損で訴えられ、1788年には法務長官からさらに訴追され、印刷業の廃業に追い込まれることになる。オルモンはその時の状況を以下のように語っている。「いったんターゲットにされた印刷業者は、ほぼ〔政府の手を〕逃れることはできない。なぜなら一つの罠がうまくいかなければ、次の手が仕掛けられるだろうから。」⁶⁾時はフランス革命の前夜、フランスでは1789年にバスティーユ監獄の襲撃、1793年にはルイ16世の処刑に至り、革命が激しさを増すにつれ、英国政府は一段と言論統制を厳格化し、オルモンはその渦中の人となった。1790年にオルモンは名誉棄損の処罰に抗議をするものの、国外逃避を余儀なくされ、1792年3月に帰国するや、即座に14か月の監獄行きとなり、印刷業を再開することは叶わなくなってしまう。このような政治のあおりをまともに受けた弟子の一人がロバート・ウィルクスだったのである。

上記のオルモンとの師弟関係解消の文書にはさらに表書きが残されていた。ジョセフ・ヒバート(Joseph Hibbert)と黒インクで宛名書きされた封書の右側には、別の覚書のような文書がしたためられている。インクが薄く判読しにくいのが以下のように読める⁷⁾。

Chamber of London

20 April 1792

The within Named Appr.[Apprentice]

Was this day turned to
Thomas Wright Cit. [Citizen] & Stationer
or the Remainder
Of the Term

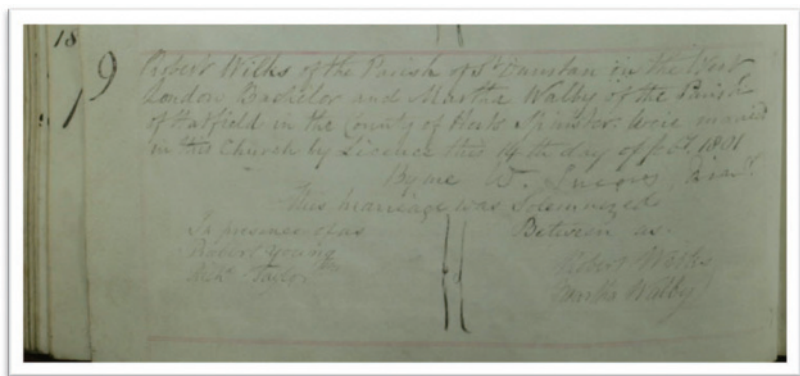
オルモンとの師弟関係解消後のウィルクスについての処遇を記したもので1792年の4月20日にはトマス・ライト (Thomas Wright) というロンドン市民・書籍組合員に引き継がれ、残りの徒弟期間の引受先となった⁸⁾。1790年の徒弟関係解消から2年後の1792年に受け入れ先が決まったのか、あるいは単に記載が遅れたのか、いずれにせよ、本来なら通常7年の徒弟期間が終了するはずの年に「残りの修業期間」を引き受ける新たな親方が決まった。ということは、ウィルクスの印刷工としての修業期間は、かなりの間中断されていたようだ。通常の2倍以上の時間が費やされることになり、実際にフリーマンとして認められたのは1800年であった。

18世紀は「国民読者の誕生」の世紀といわれ、その読書を支える出版界は活況を呈した。出版の自由が語られ、守られていると信じ、少々自意識過剰な表現をジョン・オルモンの追想録にもみることができる。だが切実な使命感を持っていたのは事実で、そのような使命感が必要な状況であったのも事実である。いつの時代でも政府と出版界には一定の緊張関係が存在するが、18世紀の英国政府による弾圧の動きはフランス革命以前にもみられる。1763年には政府にいらまれていた印刷業者たちが一斉に検挙され、その数は48件に上った。ウィルクスの親方オルモンと同様にロンドン市長ジョン・ウィルクス (John Wilkes) を擁護したジョン・ウィリアムズは、ウィルクスの文書を出版したかどで、公衆見せしめの刑に処され、1774年には監獄送りとなった。1790年前後には、フランス革命を対岸の火事と静観できないと危惧した政府は「誹毀罪」(「名誉毀損罪」の古称)を歴史上でも「これまでになく濫用」、世論も保守化する中で、オルモンは出版人としての人生を振り返り、当時の出版人を取り巻く状況の不安定



【画像3】 画像2の表書き ウィルクスの新たな年季奉公先の記録

さと自身の心情を吐露している⁹⁾。「何が名誉毀損にあたるのか文書化されておらず、不確定で、定義もされていない。朝令暮改、今日の規則は明日の規則にあらず。だれもなにか名誉毀損なのか言える者はいない。」¹⁰⁾そしてオルモンは言う、「息子には鍋釜を直す^{いかけや}鑄掛屋にならせたほうが、出版人よりよっぽど安心だろう。鑄掛のルールは明確だが、出版を取り締まるルールはあやふやなのだから」と。ウィルクスの父親が、あるいは息子の職業選択の際に期待したかもしれない思い、すなわち印刷者という腕に覚えさえあれば将来に心配がないと思われた出版界は、親方オルモンの言葉が語るように、明るい未来が保証された職業というわけではなかったのである。そもそも印刷業には設備費・印刷のための材料費、印刷をするために雇用しなければならない人件費など、事業の開始時も運転資金のた



【画像 4】 ロバート・ウィルクスの結婚証明 1801 年 2 月 14 日

めにも相当の準備金が必要だった。ウィルクスの場合、幸い、ジョナス・デイヴィスに見出され、ノリッジの裕福なテイラー家のジョンとリチャード父子との印刷事業に招かれたため、順風な出版人として人生を歩めるはずであった。次章では今回新たに明らかになった情報から、印刷工としてのウィルクスの生活を再現することで、19 世紀ロンドンの印刷出版界の一隅に、小さくはあるが、光を灯してみたい。

2. 1800 年ウィルクスの門出と家族

1) 結婚

ロバート・ウィルクスは 1800 年に無事印刷工として独立し、チャンセリー・レイン (Chancery Lane) 89 番地で印刷業を始める。1801 年 2 月 14 日には結婚、聖ダンスタン・イン・ザ・ウェスト (St Dunstan in the West) 教会の婚姻証明書には一部判読不能な部分があるが、マーサ・ウォルビー (Martha Walby) を妻に迎えたとしたためられている【画像 4】。

Robert Wilks of the Parish of St Dunstan in the West London Bache-

lor and Martha Walby of the Parish of the Hatfield in the County of Herts Spinster were married in this Church by License this 14th day of Feb^y. 1801

By me W. Lucere[?], Minister[?]

This marriage was solemnized

In presence of us	}	}	Between us.
Robert Young			Robert Wilks
Ric ^d Taylor			Martha Walby

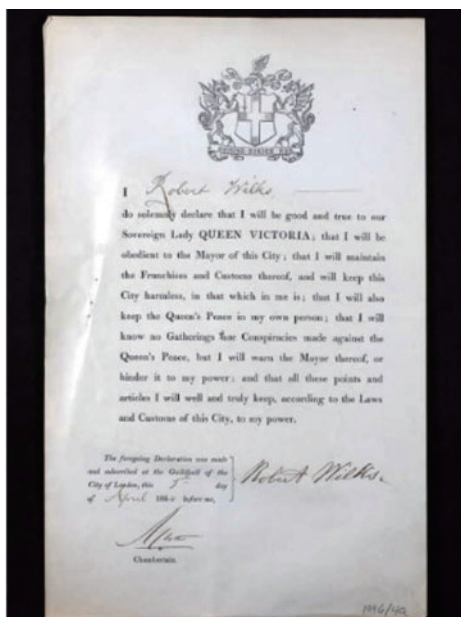
結婚の証人の一人は、後に喧嘩別れをする共同経営者のリチャード・テイラーである。聖ダNSTAN教会はウィルクスが徒弟時代を過ごしたフリート・ストリートにあり、印刷業を営んだチャンセリー・レイN 89番地から徒歩4分ほどの立地である【画像5】。上記の婚姻証明によれば、この教区の住人との表記があるので、当時の居住地チャンセリー・レイNが聖ダNSTAN教会の教区であったことがわかる。チャンセリー・レイN境界はロンドNの司法関係の地域であり、聖ダNSTAN教会は19世紀初頭には書籍販売や出版の中心地としても知られていた¹¹⁾。1831年にフリート・ストリートの道路拡幅工事に伴い取り壊され、敷地内ながら移築されたため、現存する聖ダNSTAN教会の建物は当時の姿ではなく、ジョン・ショー(John Shaw)による設計である。聖ダNSTAN教会には長い歴史があり、聖書の翻訳者として名高いウィリアム・ティンダル(William Tyndale, 1494-1536)が訓誨師、ジョン・ダン(John Donne, 1572-1631)が教区司祭を務めたことでも知られる。1666年のロンドン大火の際にはウェストミンスター(Westminster)司祭のジョン・ドルベン(John Dolben, 1625-1686)がウェストミンスター・スクールの生徒を動員し、先頭に立って何時間にもわたるバケツリレーを指揮し、ダNSTAN教会をかろうじて焼失からまぬがれさせたという逸話も残っている。

あまりに大雑把な年齢表記である。実のところ、1841年の国勢調査を読む際に留意すべき点は、年齢表記が5歳刻みで切り捨て方式だったことである。30-34歳であれば30歳、35-39歳は35と記載されたので、マーサとロバートが同年齢とは限らず、フランシスとロバート・ジュニアは双子の兄弟ではなく、実年齢は30-34歳の間におさまるはずである。しかしながら、別の史料によると、長男は1803年、次男は1810年生まれで、国勢調査の記載ルールに従えば長男ロバートはこの時点で37か38歳なので35歳と表示されるはずが、なぜか30と記載されている。かなり調査の記載情報には誤謬がありそうだ。1841年6月30日の国政選挙の選挙人名簿には次男の名前が別の住所で登録されているのである。つまり、41年時点で次男は同居していなかった可能性も高い。ウェストミンスター地区の聖マルタン教区 (Parish of St Martin, the City of Westminster) のクレイヴン・ストリート (Craven Street) 在住者として 'Wilks, Francis Maseres' の名が記録されており、1851年の国勢調査の際には長男ロバートも同住所に登録されている。1841年国勢調査の職業欄には父ロバートは「印刷業」(Printer)、息子ロバートは「書籍販売」(Bookseller)、フランシスは 'carver and gilder' と記されている。これは「彫刻・金箔師」だが、額縁などの製作者を指すようだ。父親ウィルクスの職業と関連させるなら、あるいは書物の挿絵原画を彫り、加工をする仕事の可能性もあるかもしれない。フランシスについては1870年に「花嫁の父」としての記録もあり、同年8月2日にセント・パンクラス教会教区で娘ウーナ・オーガスタ (Una Augusta) が結婚、この結婚証明の父親職業欄には「アーティスト」と記されている。

国勢調査にはミドルネームは記載されていないが、息子二人のいずれにも興味深いミドルネームがつけられている。長男の名は Robert Stanhope, 次男は Francis Maseres である。Stanhope とはチャールズ・スタナップ伯爵 (Charles Earl Stanhope, 1753-1816) が発明した英国発の鉄製印刷機の名称である¹²⁾。完成したのが1803年頃、すなわち長男が誕生したその年で

ある。印刷業者ロバート・ウィルクスとしてのプライドと願いが込められた命名だろう。チャールズ・スタナップという人物は「発明家」であり、「市民スタナップ」という異名があるように、18世紀市民革命の擁護者だった。1783年に24歳で首相となったウィリアム・ピットとスタナップは共に改革と自由のために闘った盟友だったが1789年のフランス革命を汐に袂を分かち。ピットは反政府の動きを封じ込むために1798年には人身保護律を停止、逮捕令状なしの身柄の拘束を可能とした。スタナップは貴族院で一人気を吐き、孤高の戦いを続けた。言論と出版の自由の確保こそが火急の課題と捉え、印刷技術の刷新をすべく印刷機を発明するのである。1795年2月4日にロンドン市民を前にスタナップが行った演説、「比類なき発明である印刷を活かすのは出版の自由のみ」と訴える演説が残っている¹³⁾。スタナップという語は近代印刷産業の象徴であった。1795年はウィルクスといえば、新たな親方の下で印刷修業をしていた時期であろう。あるいは演説について耳にしたかもしれない。首相ピットはウィルクスの親方の凋落のきっかけを作ったその人でもある。ジョン・オルモンという出版の自由のために投獄され、印刷業を廃業させられた人物を親方としたウィルクスにとって、スタナップとは、印刷出版の自由と近代印刷技術への憧憬を喚起させられることばでもあったのだろう。

次男の Francis Maseres にも命名の由来がある。同名の人物がウィルクスの同時代にいた。フランシス・マセラス (Francis Maseres, 1731-1824) は、司法関係の仕事に従事しつつも、セント・アンドリュース大学の欽定講座教授を長く務め (1765-1807)、多くの数学の教科書を執筆した。「より多くの人に数学を」という趣旨から刊行され、残念ながら、英国における代数教育に負の遺産を残したと評されている。とはいえ、当時では極めて珍しく90歳を超える長寿であり、しかも二刀流となれば、功成り名遂げた人物に見えたであろう。息子に命名するにはふさわしい名前と考えても無理はない。ちなみに、ウィルクスはフランシス・マセラスの著作も刊行しているのでこの人物を知っていたことは間違いないだろう。息子の命名法を



【画像7】1864年発行の息子ロバート・ウィルクスの
グラヴァー組合会員認定証

みても、父親の思いとこだわりが透けて見えるようだ。

長男ロバートのその後は、父と一緒に仕事をすることもあり、印刷・出版関連の仕事をしていたようだ。生年の情報が記載されていたのは1864年4月に発行されたグラヴァー組合の会員認定証である【画像7】。

ロンドン市の紋章である赤十字をドラゴンが左右から支える図柄と‘Domine dirige nos. (Lord, Guide us.)’のモットーが印刷されている。この会員認定証によると、「父親から受け継ぐ世襲の権利」(Patrimony)によって息子ロバートはグラヴァー組合員として1864年4月1日に認証されている。この権利を行使する条件は、父ロバートが息子誕生の以前にグラヴァー組合員であること、また本人がその父親の嫡出子であることで、その条件が満たされていることを示すために、この文書に父親ロバートはジョージ3世39年目の御代、すなわち1800年、5月8日に組合に年季明け

で入会が認められたこと、そして息子ロバートは1803年に嫡男として誕生したことが記されているのである。この組合加入証明書が発行された折には息子ロバートはすでに60歳を過ぎており、またグラヴァー組合などの同業者組合制度（ギルド）は19世紀半ばにはすでに名目化していた。息子ロバートの場合も事業の許認可を受けるなどの実利目的ではなく、父から受け継ぐ出版人の「勲章」のような意味合いで申請したのではないだろうか¹⁴⁾。

3. ウィルクスの足跡

1) 火災保険記録から

1805年には長引く騒動を経て、経営パートナーであったリチャード・テイラーと正式に契約関係を破棄し、単独経営に切り替わる。両者の関係解消をめぐる騒動は前稿で触れたが、チャンセリー・レインの印刷工房ではウィルクスが植字工やりチャードと対立し、喧嘩の応酬は日常茶飯だったようだ。解消の条件で同じ印刷工房と住宅に居住を認められたチャンセリー・レイン89番地には少なくとも4本の火災保険記録があり、あと1件はニューイントン・グリーン14番地である。1812年から14年までの火災保険は以下のとおりでいずれも印刷業との記載がある¹⁵⁾。

1812年10月29日	チャンセリー・レイン89番地	printer
1813年12月21日	チャンセリー・レイン89番地	printer
1814年11月21日	チャンセリー・レイン89番地	printer
1826年3月1日	チャンセリー・レイン89番地	booksellers
1832年1月24日	ニューイントン・グリーン14番地	“gent”

1812年から14年にウィルクスが印刷した作品が大英博物館（British Museum）に6葉残っている。目録によれば、いずれもエドワード・ポールハ

ンプトン (Edward Polhampton, 1775/6–1830) の *The Gallery of Nature and Art* のエッチング画である。1816年の『アーサー王の死』には第3巻末尾に宣伝文が合本されている。「100点もの優雅な名跡歴史的建造物などの挿絵付き」と大書されている。客の好みと懐事情で、豪華版と通常版が準備されており、アーティスト名には1816年版のマロリーの題扉を担当したクレイグ (William Marshall Craig) の名も並ぶ。広告文に掲載されている書評によると、作品の仕上げも匠の技 (masterly work) と称賛されており、ウィルクスはエッチング画の製作には一定の評価があったのではないか。マロリーの3巻本も題扉6枚の仕上がりは悪くはない。広告文には「本日販売」のことが冒頭にあるが、いずれの年の「本日」なのか目録情報だけでは確定できない。おそらく『アーサー王の死』の出版前年の1815年までに全6巻が印刷されたようだ。1818年には第2版が印刷されている。

火災保険記録で目を引くのは、1814年以降、記述に変化がみられることだ。まず14年から26年までの12年間、記録が欠落し、さらに26年から6年の空白、そして職業欄と住所の変化である。印刷業が書籍販売をすることはあったので、この差異はさほど問題ではないかもしれないが、89番地では印刷事業を中止したことを暗示している。印刷稼業は順風ではなかったようだ。マロリーの『アーサー王の死』を1816年に印刷刊行したが、事業の起死回生とはならず、あるいはむしろ屋台を傾けることになったのか、1819年1月30日に破産を申告する。

2) 1819年破産申告と手続き—『ロンドン・ガゼット』から

3月29日にまず『ニュー・タイムズ』(*New Times*) に破産に伴う自宅の家具類の競売広告が公示される。この広告によると「印刷業・書籍業・破産者」のロバート・ウィルクス氏の破産管財人の依頼により、3月31日11時より、チャンセラー・レイン89番地内において家財道具一式の競売が実施された。1819年4月24日からは続々と『ロンドン・ガゼット』

に破産手続きの公報が掲載されていく。「破産者の最終審査を行う」べく、引き渡し方法について「不動産と動産の完全な確保と開示をし、審査を終了するべく」、債権者は債権を証明できるものを持参のうえ、集合されたし、という文面が掲載され、5月1日も同様の公報がなされている。ウィルクスの職業として、印刷・書籍業のほかに、これまでの職業欄に登場しなかった「販売人・行商人」(Dealer and Chapman) が加わっており、「物品販売」によって少しでも自身で再建返済に励もうとする姿が透けてみえるようだ。だがウィルクスの破産は避けようもなく、手続きは進む。5月4日にはウィルクスの破産によって蒙った損害補償、未払いの賃金、日曜版新聞を印刷する際にかかった経費などの請求がある場合は申し出ることという通告、1819年5月25日に破産宣告告知、「^{くだん}件のロバート・ウィルクスは破産に関わる全ての法令に従い遵守することを認められた。異論のある場合は6月15日までに申し出ること、その日を以て破産を確定し法手続きに入る」との一文がある。1819年7月17日にはすでに競売が終了した模様で、競売から得た金額から債権者に支払う手続きをするので、債権者であることを証明済みの者は7月22日に集合するように告げている。破産手続きの最終段階である。1819年9月4日には興味深いことに、配当金支払いの告知が掲載されている。ウィルクスの動産処分によって得られた金額から債務者に配当金が、債務1ポンドにつき1シリングで支払われるという。債務者代行チャールズ・フルドゥニエールが9月8日から毎週水曜日10時から14時の間に配当金の支払いに応じると明記されている。

ウィルクスも残念ながら父親と同じくフリート監獄送りとなったようで、翌年1820年2月12日にはフリート監獄から出所、さらに1820年12月2日にも釈放の記録が残る。入所記録は未発見である。1821年10月13日の官報には「賃借物件や不動産処分の手続きに進むので、不動産関係者は申し出よ」と発表される。1823年には配当金の支払予告が2度もあり、1月4日の官報には「債務証明があれば、さらに配当金を支払う」という

THE Commissioners in a Commission of Bankrupt, bearing date the 30th day of January 1819, awarded and issued forth against Robert Wilks, of Chancery-Lane, in the County of Middlesex, Printer, Bookseller, Dealer and Chapman, intend to meet on the 25th day of January instant, at Eleven of the Clock in the Forenoon, at the Court of Commissioners of Bankrupts, in Basinghall-Street, in the City of London, to make a Further Dividend of the Estate and Effects of the said Bankrupt; when and where the Creditors, who have not already proved their Debts; are to come prepared to prove the same, or they will be excluded the benefit of the said Dividend. And all Claims not then proved will be disallowed.

【画像8】 *The London Gazette*, 17975, 15 November 1823, p. 1928.

告示がされ、さらに3度目の配当金支払いの通告が11月15日の官報で重ねて報じられている【画像8】。当然、動産・不動産の処分にもとづく配当金の支給と想定されるが、少々不可解なのは、ウィルクスはこれ以降もチャンセラー・レインに住み続けていた記録があることだ。

3) 書籍組合の記録から

書籍組合記録の登録住所によれば、ウィルクスはチャンセラー・レインの他に、2か所の住所が確認できる¹⁶⁾。'89 Chancery Lane' は1802-30年、1825-27年には'76 Fleet street', 1833-39年が'5 Bartlett's Building'である。1830年まではチャンセラー・レインとフリート・ストリートで、一時期は2か所で書籍関係の住所を登録していたことになる。いずれも当時としてはかなり新しい建物のようなのだ。この記録を裏付ける裁判の興味深い証言がある。1828年10月に開廷された窃盗事件（次章で詳述する）の冒頭で、ウィルクスは「印刷業で、チャンセラー・レインに住んでいる」と自己紹介をするのである。同裁判において、窃盗事件の被害があったと目される日から訴えるまでに日時を要した理由を尋ねられ、ウィルクスは釈明する、「ニューイントン・グリーンに家があり、妻の健康が思わしくなく、往復するのに時間がかかったうえに、多忙だった」。ということは、1828年にはすでにニューイントン・グリーンの家を持ちながら、



【画像9】1912年撮影の76 Fleet Street
(©London Met Archives_48073)

フリート・ストリートで印刷の仕事をしていたことがわかる。ニューイントン・グリーン周辺は当時も現在も中流階級の住宅地として知られる地域で、ウィルクスの火災保険で登録された14番地の建物は1953年時の撮影写真によれば、4階建ての堅固なテラス・ハウスである。フリート・ストリート76番地の建造物も1912年撮影の写真が現存している【画像9】。屋根裏付き4階建てで、3階には新聞社 *Nottingham Daily Express* が入り、*Evening News* が左壁面、右壁面には *Weekly Express*、中央に *Oldest and Leading North Midland Journals* と鮮明に刻印されている。長男ロバートはフリート・ストリートで新聞社の印刷現場で働いたと証言していることから、この写真は時代の差はあるものの当時の通りの雰囲気と町の生業を想起させる。さらに同建物の上階には *Kleboe & Franklin Artists & Engravers* という社名がみえる【画像9】。ウィルクスの次男が「彫刻・彫金師」「アーティスト」と名乗っていたことを思い起こすと、フランスの仕事はこの社の製作物のように、書物の挿絵や商標のデザインなどを手掛ける彫師の仕事だったのではないかという可能性も見えてくるようだ。

さらに最後の登録地バートレット・ビルディングズはジェイン・オース



【画像 10】 Kleboe & Franklin のポスター



【画像 11】 1858年 Thomas Hosmer Shepherd, *Bartlett's Buildings*
(© The Trustees of the British Museum.)

ティンの小説にも登場する瀟洒な3階建ての事務所ビルとして有名で、法曹関係者や医者が事務所を構えていた。第二次世界大戦で焼失したが、大英博物館に1858年製作の絵画が残っている【画像11】。総じて、ウィルクスが仕事場や住居として用いた建物はいずれも堅牢で幼少期に過ごした可

Genuine Household Furniture; Shop Fixtures; and other Effects.
 By Mr. SAUNDERS; on the Premises, No. 89, Chancery-lane, on Wednesday next, March 31, at Eleven, by order of the Assignees of Mr. Robert Wilks, Printer and Bookseller, a Bankrupt;

COMPRISING mahogany four-post, and other bedsteads, with feather beds and bedding, a capital barrel organ, by Pistor; mahogany dining room tables, and chairs, Brussels and other carpets, window curtains, a piano-forte, by Longman and Co.; mahogany double and single chests of drawers, chimney, pier, and dressing glasses, linen, and kitchen utensils; together with the excellent shop fixtures, counter, kitchen ranges, register and other stoves, &c. &c.—To be viewed till the Sale; and Catalogues had on the Premises; of Messrs. Loxley and Son, Solicitors, Cheapside; and at the Auctioneer's Office, No. 39, Fleet-street.

【画像 12】 *New Times* 1819 年 3 月 29 日付の競売広告

能性のある地域の住宅事情とはかなり異なる「中流」の雰囲気が漂う住環境といえそうだ。

4) 競売の広告から

破産手続きを経たウィルクスだが、破産までどのような生活をしていたのだろうか。1819 年の破綻時に競売に付された家具類には驚くべき品が並んでいる【画像 12】¹⁷⁾。豪華なマホガニー材の四柱式天蓋付き寝台、羽毛寝具類、マホガニー材のダイニングテーブルセット、同じくマホガニー材のチェストに鏡台、当時人気のブリュッセル絨毯、窓用カーテン、さらに、キッチン器具類一式まであり、生活用品すべてが競売の対象である。かなり豪華な生活ぶりを示す家具類だが、特に興味深いのはピスター製バレルオルガンに加え、ロングマン製ピアノがあることである。ピスター製とは、ジョン・ピスター (John Pistor) によるバレルオルガンだが、ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館の記述によると、「裕福な家庭の応接室にふさわしい調度品」である。製作年代は 1780 年頃から 1800 年の間で、ロングマンのピアノの製作年代も 1780 年代から中断を経て、1815 年くらいまでとされている。楽器が 2 台もあるというのはかなり音楽に関心がある住人が想定される。ウィルクス家が音楽の趣味があったかどうかは不明だが、いずれの楽器も製作年代が 1780 年代に遡れるのは示唆的であ

る。おそらく以前の共同経営者で居住者のテイラー家が旧蔵していたピアノや家具類をそのまま引き継いだのではないか。当初の居住者であったジョン・テイラーはノリッジの有力者で、讃美歌の作詞者でもあった。チャンセリー・レイン 89 番地に楽器を設置したとしてもおかしくはない。テイラー家との関係を絶ったあと、破産宣告を受ける 1819 年までに刊行したウィルクスの印刷出版物から判断するかぎり、贅沢ができるほどの大型収入があったことを示す確実な証拠は見当たらない。ただし、裁判記録によれば、台所手伝いを複数雇っていたこと、また破産後に 3 度にわたり利子を払っていること、また 1829 年には息子ロバートはフリート・ストリートの賃貸納税記録から比較的高い額を支払っていることを勘案すると、破産をしても貧者ではなく、存外恵まれた生活をしていただのかもしれない。破産しても再建し生きる強かな印刷業者ウィルクスである。

4. 裁判所記録に残るウィルクス像と印刷者たち

ウィルクスは印刷業を長く営んだチャンセリー・レインが司法関係の地域だったため、裁判所の門をくぐることに抵抗がないのか、1820 年代からは様々な理由から裁判所通いが始まる。

1) 1824 年 2 月 18 日 窃盗犯の助命嘆願

中央刑事裁判所、通称オールドベイリー (Old Bailey) でエドワード・ソルト (Edward Salt, 16 歳) の助命嘆願にウィルクスが登場する¹⁸⁾。ソルトは以前雇っていた台所手伝いの少年で、死刑を求刑されていた。容疑はジョン・ギブソン (John Gibson, 15 歳) と共謀し、1 月 17 日夕刻にウィリアム・パーカー (William Parker) の店舗に窓ガラスを壊して押し入り銃を盗み逃走したが、逮捕された際にナイフを所持していたという。ウィルクスは彼が初犯であること、窓ガラスは初めから壊れていたのであって破壊したのでない、と主張、さらに雇っていた時には人物もよく、放免の暁には再雇

用まで申し出ている。破産から間もないにもかかわらず、すでに人を養う経済的な余裕が生まれていたのだろうか。窓ガラスが壊れていたというウィルクスの主張は、ソルトが保持していたナイフの付着物が窓枠の接着剤と一致したという警官による証言で、あえなく却下。しかし、他の証人たちからも、被告人の「母親は立派なお方」であるし、「エドワード自身正直な人柄だし、よい人物だ」などの援護射撃があり、死刑はかろうじて免れる。しかしヴァン・ディーメン島（タスマニアの旧称）への21年の流罪が申し渡される。共犯者も同様に流罪、かなりの厳罰である。ウィルクスの別の横顔が覗く裁判所記録といえるだろう。さらに次の2件はいずれも窃盗被害の訴えである。

2) 1829年9月10日 書籍の窃盗被害事件

2ポンド相当の書籍をウィルクスの店から窃盗した嫌疑で訴えられたヘンリー・ターナー（Henry Turner）という21歳の若者の案件である¹⁹⁾。ターナーはウィルクスの書店に入ると判決集を自分の兄弟が喜ぶだろうから届けてほしいと7冊注文したが、すぐに転売したという。この裁判の記録ではウィルクスはターナーの様子が怪しかったので、すぐに店の者に見張らせたと述べている。店内に入る人物には監視の目を向けるウィルクスらしい反応である。チャンセラー・レインの土地柄にふさわしく法曹関係の書物を扱っていたことがわかる。ただし、別の証言によれば、持ち込まれた盗品の書籍は古くて安値しかつけられなかったという。現在価格では3万円弱の金額の書物の窃盗罪に7年の流罪の判決とは、これまた厳罰である。さすがに当時も減免を願ったようで、「両親は立派な人」、「本人も後悔しています」という請願者の声に応じて恩赦、感化院送りになったと1829年11月10日付で記録されている。ちなみに、ヘンリー・ターナー本人は82歳と、当時としてはかなりの長寿を全うしたという²⁰⁾。

3) 1828年10月23日 活字の窃盗被害事件

同じくオールドベイリー、中央刑事裁判所にて窃盗罪の公判が開廷される²¹⁾。1809年に印刷用紙の窃盗被害に遭ったウィルクスだが、今回は活字を窃盗されたという被害者として裁判記録に登場する。裁判記録からまず事件の概要を再現しつつ、当時のフリート・ストリート界隈を立ち回るウィルクス親子を通して、19世紀初頭の印刷業者の生業の一面を活写してみたい。被告はジョン・オズボン、原告がウィルクスである。ウィルクスの申し立てによると、同1828年5月1日ウィルクスの店舗から、被告オズボンは印刷活字ミニオンの重量33ポンド、金額にして3ポンド6シリング相当を窃盗したという。1819年に破産したのちも以前と同じチャンネル・レインに店舗を構えていたことがこの判例でもわかる。ウィルクスはスノーヒルのトマス・クリスティ氏の店に活字が持ち込まれたという情報を得て駆け付け、自分の所蔵活字であると確認したという。ウィルクスがオズボンを問いただすと、活字は自身が購入したものであり、ミニオン活字(7ポイントの活字)はウィルクスから請け負った仕事では使用していないと主張したという。つまり被告オズボンは、ウィルクスから仕事を請け負って印刷する受注者であり、ウィルクスによれば店舗に出入りする間柄だった。よくオズボンは店内で時間をつぶすことがあり書籍やもろもろの品を見て回っていたという。ウィルクスは以前1809年にも印刷職人に紙の窃盗容疑をかけ裁判を起こしたことがあったように、店内に入り込む職人に警戒感を抱いていたようだ。活字について問いただすと、オズボンは最初当惑したようだったが、曰く、西インド諸島向けドックで船荷を出荷する人物が活字の大半を水没させてしまったが回収したという。大英帝国の貿易圏を彷彿とさせる交易先である。この説明にウィルクスは反論し、活字はきわめて新しく白銀色を保っており、水没したのであれば、変色しているはずだという。すると、オズボンは印刷業者シュラブソールから購入した活字だと言う。以下、裁判官との問答を一部再現する。

裁判官：この会話を聞いた第三者はいるか。

ウィルクス：否。息子は被告オズボンの父親と同じ建物内で仕事をしており、フリート・ストリートのブラックホース・コート (Black Horse Court) で何部屋か父親に貸したことがある。私がこの活字の件の情報を得たのは両者が同じ仕事をした時期だと記憶している。盗まれたミニオン活字は小型活字で特殊な活字ではなく、通常揃える活字のタイプです。

ウィルクスは印刷業者の蘊蓄を語る。以前の裁判の折にも、窃盗された印刷用紙についてその特殊性を印刷業者の蘊蓄を交えて裁判官に説明していた。ウィルクスの性格がにじみ出る証言である。

裁判官は「賃金の未支払いはないのか。紛失に気づいた7月から訴えの10月までなぜ放置していたのか」と被疑者に動機があるのか、事件として成立しうるか事実関係を確認する。これに対してウィルクスは支払いに問題はないと答え、さらに「きわめて多忙だった。ニューイントンに家があり、通勤の往復に時間がかかることに加え、妻が病気だった。訴えが遅れたことは認めるが、とにかく多忙だった」、なぜか「15ポンドで示談をしようとしたことはありません」と言葉を添える。議事録にはそれまで登場しない項目である。ウィルクスの記憶の流れにそったような言葉が記録されているため、混乱もあるが、一次資料として興味深い。またウィルクスの当時の生活状況の謎を明かす情報が証言からこぼれ落ちてくるようだ。さて裁判の行方はどうなるのか。

オズボンから活字の購入先と名指しされたシュラブソールが証言に立つ。シュラブソールによれば、オズボンにミニオン活字を販売したことはない、という。これは重大な反証である。裁判官の問いが続く。

裁判官：ミニオン活字の一式を窃盗することは可能か。

シュラブソール：かなり難しいと思います。砂糖や茶、砂の袋ならともかく、活字はセットになっているので、少なくとも私の店舗から活字を窃盗するのは誓って難しい。

トマス・クリスティ：スノーヒルのキング・ストリートに住む者ですが、ウィルクスが私の店の活字、完全なセットを見に来ました。私は5月の初めに被告から1ポンドあたり、2シリング6ペンスで購入しました。ウィルクスが当店に立ち寄った後、オズボンにフリート・マーケットの角で会ったので、ウィルクスの件について話したところ、シュラブソールのカードを示してシュラブソールから購入したと私に言いました。同じ活字のタイプであれば同じ活字に見えるので、印刷業者が活字をみて自分のものとわかるとは、私なら誓うことはできません。9月にすでに軽罪判事の前で証言しました。

これはウィルクスには不利な証言である。活字を見て自分の所有品とわかったと陳述しているのだから。裁判官も窃盗の事実がありえたのか、その根拠崩しの質問を続ける。

裁判官：活字は使用した後、水に入れ、洗うのか？

クリスティ：使用後の活字は真珠灰（pearlash：木炭からえる顆粒上の炭酸カリウム）で洗浄し、それから水で洗います。テムズの水で洗って、活字の品質が変化することはないと思います。

ロンドンの人口は年々膨れ上がり、下水道が未整備であった時代にテムズ川の汚染は19世紀中葉に社会問題化するが、1820年代のテムズ川の水質はまださほど深刻ではなかったようだ。シュラブソールの証言の真偽を確認するための質問が続く。

裁判官：シュラブソールから購入した件について、オズボンの父親

がシュラブソールから購入したことを明かしたくない事情はなかったのか。

クリスティ：活字は私の店舗で公に私に売却したもので、秘匿してほしいなどの申し出はありませんでした。活字は完全なセットでした。

ジョージ・ワディントン：私は警察の者ですが、オズボンを二度追跡したことがあります。父親に伝言をしたところ、翌朝本人が出頭しました。ウィルクス氏は私に2か月前に逮捕してほしいと述べました。

ウィルクスの性急さへの小言がポロリとこぼれ出す。

ロバート・ウィルクス・ジュニア [息子のロバート・ウィルクス]：クリスティ氏を7月訪問しました。仕事の話をしていた時に伝言が入り、この活字を見せてもらいました。すぐに私はその活字は父親のものだとわかり、盗まれたのだと思いました。活字を見分けることはできます。詳細に点検をしました。

息子ロバートは父親のものだと一目でわかったと主張する。明らかに活字から自分の所有物を主張できるのか否かが、争点と考えた裁判官はこの点について質問を続ける。

裁判官：父ウィルクスはどこかの鑄造所から活字を購入したのか。

ロバート・ウィルクス・ジュニア：イブニング・タイムズ紙 (*Evening Times Newspaper*) で使用された活字の一部でプシェ (Pouchee's) の製造です。

これは印刷史上貴重な証言である。イブニング・タイムズ紙は1825年から1826年に発行された新聞で、プシェの活字が使用されたことになる。

このプシェという活字鋳造者はルイ・ジョン・プシェで、パリからロンドンに移り、「最も美しい活字」を製造したと言われる人物である。プシェの活字には表面に繊細な動植物などが彫り込まれ、なるほど「最も美しい活字」とも評されるのも合点がいく。特にポスターなどに使用されることが多いようだ。プシェは腕のよい職人を高賃金で雇い、活字を安く販売し、同業者に攻勢をかけた。だがその結果、数年後には破産の憂き目にあってしまう。印刷・出版業界は浮き沈みが激しい世界だった。息子ロバートは発言を続ける。

ロバート・ウィルクス・ジュニア：活字のニッケ（活字の向き、書体を区別するためのV字溝）を見て判別できます。

息子の証言を引き取り、横から父親ウィルクスはクリスティ氏の店にオズボンが売った活字は自分のものであることを証明するために、発言を補強する。「この活字には2か所のニッケがついており、自分の活字である」見分けがついたと主張する。はたして活字を外見から見分けることができるのか。これに対して再度クリスティ氏から反論が提出される。

クリスティ氏：ニッケが2か所に施された活字はごく普通で、3か所についているものもあります。

明らかに、ウィルクスがふりかざす「知識」へのあてこすりか、ウィルクス親子の発言の信憑性が問われることになる。被告オズボンの弁護に複数人が立ち、さらにオズボンの父親が証言する。「不幸に見舞われまして、」（‘I have been unfortunate’）と断り、数日前まで監獄にいたと語る、やはり印刷業者である。当時は負債を負い監獄生活を送らざるを得ないことも稀ではなかった。

父親トマス・オズボン：活字は息子に売るように言ったものに相違ありません。活字をクリスティと活字鑄造店でも入手しましたが、活字の差異を見分けることはまずできません。

ウィルクス親子の印刷業者としての面目が丸潰れである。さらにトマス・ジャクソンという人物が登場する。ウィルクスの御用聞きのような仕事をしていたが、被告オズボンは5-6月に、請け負った仕事のために必要な活字を探しており、ウィルクスから必要な活字をもっていくようにと指示されていたと述べる。しかも「オズボンが活字を持って行ったのはウィルクスの許可を得ていた」とまで言い添える。そもそも窃盗ではなかった、ということである。証言を総合して万事休す。裁判官は、ウィルクスの訴えは信用に足りないと判断し、被告は結局有罪とは認められなかった。1809年の印刷用紙紛失事件においても嫌疑をかけられた人物は無罪放免となったので、結局裁判を起こしたウィルクスが満足いくような判決は皆無である。判明しているだけでも3件の窃盗絡みの事案で出廷していることになる。これまでの裁判経過の証言の数々と裁定から判断すると、ウィルクスの証言は根拠が曖昧で、印刷業を始めたばかりのウィルクスを「猜疑心が強い」と評したジョナス・デイヴィスのことばに首肯せざるを得ない点多々ある。裁判に巻き込まれたのは、ウィルクスの店舗が窃盗の対象となりやすい目をひく店構えであったのか、あるいはウィルクスに被害妄想癖があるのか、共同経営者だったリチャードとの喧嘩の実態の記録から推察すると、いずれの可能性もありうる。ただ、浮沈の激しい印刷業界で生き残るためには強い警戒心を持たざるを得なかったともいえるだろう。

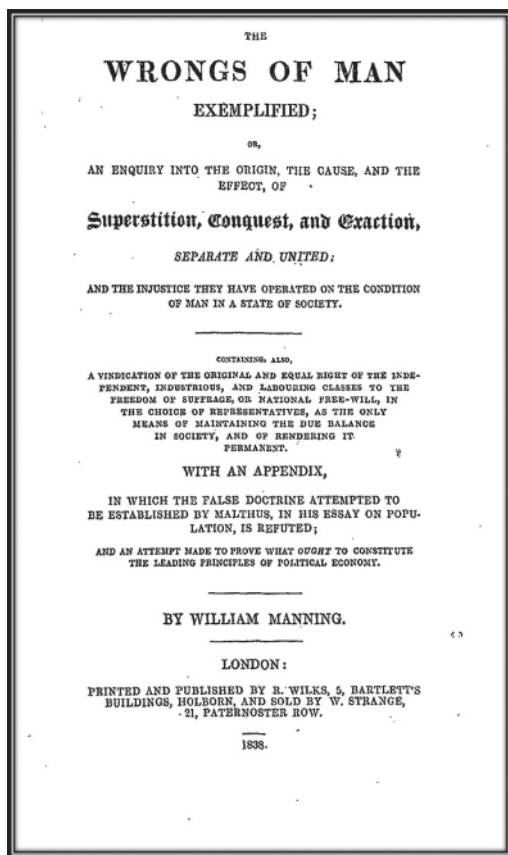
5. 最後に——ウィルクス版の意義とウィルクスの最期

通称「ウィルクス版」と呼ばれる1816年の『アーサー王の死』のテク

ストの売れ行きは芳しくなかった。その理由のひとつは印刷の仕上がりがライバル版に比してよくなかったことがあげられる。これは印刷業者ウィルクスとしての失態である。別稿で明らかにしたように、リプリントを手掛ける際にページの割付が重要である²²⁾。ウィルクス版は割付の不首尾によってページ数の増加を招き、それは印刷時間の超過、ひいては経費の増加も招く。その上、書物が売れなければ、資金は回収できず、経営的には大きな負担となる。破産宣告は1819年1月に公表されているので、経済的に切迫した状況は前年には生じていたであろう。実際、資金の確保に向けた動きは1818年の4月には見て取れる。書籍販売業者向けの宣伝で、まとめ買いで値引きすることを謳っている。注目すべきは他の書籍は二桁であるのに比して、ウィルクス版の『アーサー王の死』は販売数が160セットで多いことである。在庫残数の多さを反映しているようだ。ウィルクス版の編集者ジョゼフ・ヘイズルウッドは、ロングマンからウォーカー版がほぼ同じ装丁で、しかも安価で発売されることを知って「横やりを入れられた」と激怒した。出版物としてライバル版のウォーカー版とウィルクス版を比較してみると、ウィルクス版は編者ジョゼフ・ヘイズルウッドによるマロリー『アーサー王の死』のテキストに関する正確な解説が光っているうえ、題扉の装丁もウォーカー版に引けを取るとまではいえない。題扉の印刷については、ウィルクスが図版満載の書物 *Gallery of Nature and Art* (1816) で発揮したエッチング画の印刷技量の片鱗を見せている。だが、その一方でマロリーの3巻本のテキストを一瞥すれば明らかのように、頁を開くと印刷活字の濃淡差が目立ち、ウォーカー版のような印刷の均一な美しさに欠ける。これは印刷現場での不出来に由来する。一つにはウィルクスが信頼できる腕のよい印刷工を確保できなかったことが原因だろう。前述のとおり、ウィルクスは印刷工房に出入りした職人たちといざこざを起こすことがままあった。印刷工房開始時においては暴力沙汰、リチャード・テイラーの証言によれば、当時からありもしない嫌疑を職人に向け裁判を起こしその費用を経費として請求したと小言を記している。

単独経営時には印刷紙盗難や活字紛失の科で裁判を2件も起こした。当時著名な印刷者ジョン・オルモンに付くものの、時代の波に翻弄され、満足の徒弟期間を過ごすことができなかつたウィルクスは、記録に残されていない辛酸を若い時から味わっていたのかもしれない。そのような負の経験率からなのか、少なくとも『アーサー王の死』は残念な仕上がりのテキストとして刊行せざるを得なかつた。しかしながら、このテキストはヘイズルウッドという愛書家の思いが込められた編集がなされており、刊行当時の売れ行きは当時の出版界の巨人たちの前に屈したが、アーサー王伝説の伝播に果たした影響力は否定できない。アルフレッド・テニスンが最初に手にしたのはこのテキストだ。いまなお「ウィルクス」版としてその名はアーサー王伝承の受容史上、小ぶりながらもアーサー王の復活を告げたテキストとして名をとどめている。

1838年に1冊の書物が出版された【画像13】。印刷を手掛けたのはロバート・ウィルクス、印刷場所は最後に事業所登録のある5 Bartlett's Buildingsである。長い書名は『例証された人の諸悪』(*The Wrongs of Man Exemplified*)、さらに書名の題扉は主張する、「人に頼らず、勤勉に、骨を折り働く人々には本来、等しく、参政の自由を与えられる権利があることを擁護するものである。それこそが国家の自由意思を形成するのであり、国民の代表を選ぶ際に、社会におけるしかるべき調和を維持するため恒久的に求められるものである」。²³⁾時は、最初の選挙法改正が1832年に実施され、さらなる選挙権の拡充をもとめる機運が高まっていた時期。この書物が人の諸悪の一例として挙げているのはマルサスの『人口論』である。ウィルクスはその昔、初めて印刷業者として1800年に刊行したのもマルサスの著作だった。本書の表紙には、印刷者としてのみならず、出版者としてR. Wilksの名が刻まれている。本書は、実に活字が整った美しい仕上がりである。「人に頼らず、勤勉に、骨を折り働いてきた」証として、印刷者ロバート・ウィルクスの矜持を、最後に主張を込めて示したといえよう。



【画像 13】

1841年の国勢調査の登録住所が終の棲家であったようだ。ニューイン
トン・グリーンのパプラ (Poplar) 地区に埋葬記録が残る。1843年3月没、
72年の生涯だった²⁴⁾。

Notes

- 1) 岡本広毅, 小宮真樹子編『いかにしてアーサー王は日本で受容されサブカルチャー界に君臨したか——変容する中世騎士道物語』（みずき書林, 2019

- 年)。
- 2) 不破有理『『アーサー王の死』(1816年)の印刷者 Robert Wilks——未刊行資料から伝記的再構築の試み(その1)』『慶應義塾大学日吉紀要英語英米文学』, 74号, 2021年, 1-42頁。
 - 3) 新資料に基づいて改めて事実関係を詳述するが, 前稿と一部重複する点があることをお許しいただきたい。
 - 4) ‘John Wilks, Late of Grub-street in the Parish of St. Giles Cripplegate without, London, Watchmaker’, *The London Gazette*, 2 July 1774, p. 10.
 - 5) Bob Clarke, *From Grub Street to Fleet Street: An Illustrated History of English Newspapers to 1899* (Ashgate, 2004), p. 3.
 - 6) “[W]hen a Printer is marked for a victim, it is almost impossible to escape; for if one kind of snare does not succeed, another will be attempted.” James Raven, *The Business of Books: Booksellers and the English Book Trade, 1450–1850* (Yale University Press, 2007), p. 211. 以下, Ravenと省略。John Almon, *Memoirs of a Late Eminent Bookseller* (London, 1790). 以下, Almonと省略。Almon, John. *Memoirs of a Late Eminent Bookseller*. [s.n.], Printed in the Year MDCCXC. [1790] [1791]. *Eighteenth Century Collections Online*, <<http://link.gale.com/apps/doc/CW0102355685/ECCO?u=jpkeio&sid=bookmark-ECCO&xid=2c2e31a3&pg=1>> [accessed 26 Nov. 2022].
 - 7) 判読に助言をくださり, 筆者の疑問にお答えくださったロレンス・ウォームズ (Laurence Worms) 氏に謝意を表したい。
 - 8) 同名の書籍業者がフリート・ストリートにこの時期に登録されている。
 - 9) Raven, p. 211.
 - 10) Almon, p. 36.
 - 11) ‘History’, *St Dunstan in the West* <<https://www.stdunstaninthewest.org/history>> [accessed 26 Nov. 2022].
 - 12) Stanhope の日本語表記は「スタンホープ」が一般的である。2006年の印刷博物館による企画展示「近代印刷のあけぼのスタンホープと産業革命」においても「スタンホープ」が採用された。この企画の図録には, コラム「スタンホープかスタナップか」で苦渋の選択の経緯も説明されている。日本の重要文化財として登録された印刷機にも「スタンホープ」と冠され, 100年以上, 日本の印刷業界ではスタンホープと呼ぶことが慣習となっている。その慣習には敬意を払いつつも, BBCの発音辞典では「h」を発音することはなく, 伯爵名はスタナップであるため, 音に近いスタナップを本稿は採用する。本図録は本稿執筆の際に参考にさせていただいた。スタナップ印刷機は印刷博物館およびミズノプリンティング・ミュージアムに

展示されており見学できる。

- 13) Charles Stanhope, *Substance of Earl Stanhope's Speech*, London, 1795. Stanhope, Charles, *Substance of Earl Stanhope's Speech, Delivered from the Chair, at a Meeting of Citizens, at the Crown and Anchor, on the 4th of February 1795. To Celebrate the Happy Event of the Late Trials, for Supposed High Treason; and Published at the Request of the Meeting. Also the Resolutions of the Meeting: and the Toasts. Together with an Appendix, By Earl Stanhope, Respecting the Trial by Jury*. Printed for J. Burks, No. 52, Crispin-Street, Spital-Fields. J. Smith, No. 1, Portsmooth-Street. Lincoln's-Inn-Fields; T. Spenge, No. 8, Little Turnstile, Holborn, [1795]. *Eighteenth Century Collections Online* <<http://link.gale.com/apps/doc/CB0126425412/ECCO?u=jpkeio&sid=bookmark-ECCO&xid=0c022386&pg=1>> [accessed 26 Nov. 2022].
- 14) 組合員には Patrimony の他に redemption と呼ばれる金銭によって入会が認められる方法もあった。
- 15) 火災保険の詳細は以下のとおりである。
1812年10月29日：MS 11936/457/875412, 1813年12月21日：MS 11936/461/889287, 1814年11月21日：MS 11936/462/899661, 1826年3月1日：MS 11936/508/1043365, 1832年1月24日：MS 11936/529/1136116
- 16) British Book Trade Index=BBTI による登録住所。
- 17) 1か月後の4月下旬に実施された印刷工房内の備品一覧の競売目録も別に存在する。
- 18) 'February 1824, Trial of John Gibson Edward Salt (t18240218-46)', *Old Bailey Proceedings Online*, version 8.0 <<http://www.oldbaileyonline.org>> [accessed 27 November 2022].
- 19) 'September 1829, Trial of Henry Turner (t18290910-245)', *Old Bailey Proceedings Online*, version 8.0 <<http://www.oldbaileyonline.org>> [accessed 31 October 2022].
- 20) 'Henry Turner (Life archive ID obpt18290910-245-defend2271)', <<https://www.digitalpanopticon.org/life?id=obpt18290910-245-defend2271>> [accessed 29 November 2022].
- 21) 'Trial of John Osborne (t18281023-55)', *Old Bailey Proceedings Online*, version 8.0 <www.oldbaileyonline.org> [accessed 27 November 2022].
- 22) "Reprinting Malory: Walker, Wilks, and Southey," *The Morte Darthur : a Collection of Early-Nineteenth-Century Editions with an introduction by Yuri FUWA* [アーサー王物語の集大成：サー・トマス・マロリーの『アーサー王の死』（Sir Thomas Malory, *Morte Darthur*, 1485年）Walker 版

(1816年), Wilks版(1816年), Southey版(1817年)の復刻によせて], 7 vols. (Tokyo: Eureka Press, エディション・シナプス, 2017年). 別冊解説, pp. 70–71.

- 23) Manning, William. *The Wrongs of Man Exemplified or; An Enquiry into the Origin, the Cause, and the Effect of Superstition, Conquest and Exaction, Separate and United, and the Injustice They Have Operated on the Condition of Man in a State of Society. Containing also, ...: With an Appendix in Which the False Doctrine Attempted to be Established by Malthus in His Essay on Population, Is Refuted, and an Attempt Made to Prove What Ought to Constitute the Leading Principles of Political Economy*, R. Wilks, 1838.
- 24) 徒弟入りが1785年であったことから1770年生まれであると推定できるが、誕生日は発見できなかったため73歳だった可能性もある。ニューイントン・グリーンの情報およびウィルクスとユニテリアンに関する筆者の問い合わせに対応くださったAmy Todd氏とNick Toner氏に謝意を表したい。Amy Todd, Programme Manager at the Newington Green Meeting House, Nick Toner, Communications Manager at New Unity.

Appendix : ロバート・ウィルクスによる印刷物一覧

Year	Printer(s)	Publisher	Seller	Author's name	Full title	Pagination	Format
1 1800	Davis, Taylor and Wilks	J. Johnson	-	MALTHUS, T. R. [Thomas Robert]	AN INVESTIGATION OF THE CAUSE OF THE PRESENT HIGH PRICE OF PROVISIONS, BY THE AUTHOR OF THE ESSAY ON THE PRINCIPLE OF POPULATION.	[2],28,[2]p.	8°
2 1800	Davis, Taylor and Wilks	J. Johnson	-	MALTHUS, T. R. [Thomas Robert]	AN INVESTIGATION OF THE CAUSE OF THE PRESENT HIGH PRICE OF PROVISIONS, BY THE AUTHOR OF THE ESSAY ON THE PRINCIPLE OF POPULATION. SECOND EDITION.	[2],28,[2]p.	8°
3 MDCCC [1800]	Davis, Taylor and Wilks	Alexander Geddes	R. Faulder, New Bond-Street; and J. Johnson, St. Paul's Church- Yard	GEDDES, Alexander	CRITICAL REMARKS ON THE HEBREW SCRIPTURES; CORRESPONDING WITH A NEW TRANSLATION OF THE BIBLE, BY THE REV. ALEXANDER GEDDES, LL.D. VOLUME I. CONTAINING REMARKS ON THE PENTATEUCH.	viii,47,5.[1]p.	4°
4 1800	Davis, Taylor and Wilks	Alexander Geddes	R. Faulder, and T. Booker, New Bond-Street	GEDDES, Alexander	A MODEST APOLOGY FOR THE ROMAN CATHOLICS OF GREAT BRITAIN; ADDRESSED TO ALL MODERATE PROTESTANTS; PARTICULARLY TO THE MEMBERS OF BOTH HOUSES OF PARLIAMENT.	288p.	-
5 1800	Davis, Wilks and Taylor			Knight, R. and G.	A catalogue of chemical apparatus.	Advertisements 23, [1]p.	12°
6 1801	Davis, Wilks and Taylor	-	J.White, J. Johnson, J. Cuthell, E. Jeffery	Aristotle; Taylor; Thomas, 1758-1835.	THE METAPHYSICS OF ARISTOTLE; TRANSLATED FROM THE GREEK; WITH COPIOUS NOTES, IN WHICH THE PYTHAGORIC AND PLATONIC DOGMAS RESPECTING NUMBERS AND IDEAS ARE UNFOLDED FROM ANCIENT SOURCES; TO WHICH IS ADDED, A DISSERTATION ON NULLITIES AND DIVERGING SERIES	467p.	-
7 1801	Wilks and Taylor	-	R. Faulder	BASSETT, Joshua	AN ESSAY TOWARDS A PROPOSAL FOR CATHOLICK COMMUNION; WHEREIN ABOVE SIXTY OF THE PRINCIPAL CONTROVERTED POINTS, WHICH HAVE HITHERTO DIVIDED CHRISTENDOM, BEING CALLED OVER, 'TIS EXAMIN'D HOW MANY OF THEM MAY, AND OUGHT TO BE LAID ASIDE, AND HOW FEW REMAIN TO BE ACCOMMODATED, FOR THE EFFECTING A GENERAL PEACE.	xii, 198, [2] p.	12mo. 18cm.

Year	Printer(s)	Publisher	Seller	Author's name	Full title	Pagination	Format
8	Taylor and Wilks	-	F. Wingrave, in the Strand, F. and C. Rivington, in St. Pauls Church-Yard; and by the Booksellers of Oxford and Cambridge	AGNESI, Maria Gaetana	ANALYTICAL INSTITUTIONS; IN FOUR BOOKS : ORIGINALLY WRITTEN IN ITALIAN; / BY DONNA MARIA GAETANA AGNESI, PROFESSOR OF THE MATHEMATICS AND PHILOSOPHY IN THE UNIVERSITY OF BOLOGNA. TRANSLATED INTO ENGLISH BY THE LATE REV. JOHN COLSON, M.A. F.R.S. AND LUCASIAN PROFESSOR OF THE MATHEMATICS IN THE UNIVERSITY OF CAMBRIDGE. NOW FIRST PRINTED, FROM THE TRANSLATOR'S MANUSCRIPT, UNDER THE INSPECTION OF THE REV. JOHN HELLINS, B.D. F.R.S. AND VICAR OF POTTERS-PURY, IN NORTHAMPTONSHIRE.	2vols. in 1 (xxvii, [1], xvi, [2], 251, [1]; [2], 371, [1] p.)	4to. 29cm.
9	Taylor and Wilks	-	G.G. and J. Robinson	GODWIN, William	THOUGHTS OCCASIONED BY THE PERUSAL OF DR. PARR'S SPITAL SERMON, PREACHED AT CHRIST CHURCH, APRIL 15, 1800 : BEING A REPLY TO THE ATTACKS OF DR. PARR, MR. MACKINTOSH, THE AUTHOR OF AN ESSAY ON POPULATION [I.E. THOMAS MALTHUS], AND OTHERS.	80p.	4to. 21cm.
10	Taylor and Wilks	-	G.G. and J. Robinson	GODWIN, William	THOUGHTS OCCASIONED BY THE PERUSAL OF DR. PARR'S SPITAL SERMON, PREACHED AT CHRIST CHURCH, APRIL 15, 1801 : BEING A REPLY TO THE ATTACKS OF DR. PARR, MR. MACKINTOSH, THE AUTHOR OF AN ESSAY ON POPULATION [I.E. THOMAS MALTHUS], AND OTHERS.	[4], 82, [2] p.	4to. 22cm.
11	Taylor and Wilks	-	G.G. and J. Robinson	GODWIN, William	THOUGHTS OCCASIONED BY THE PERUSAL OF DR. PARR'S SPITAL SERMON, PREACHED AT CHRIST CHURCH, APRIL 15, 1802 : BEING A REPLY TO THE ATTACKS OF DR. PARR, MR. MACKINTOSH, THE AUTHOR OF AN ESSAY ON POPULATION [I.E. THOMAS MALTHUS], AND OTHERS.	82p.	12mo. 23cm.
12	-	A. Tilloch	Messrs. Richardsons, Cornhill	HAGER, Joseph	A DISSERTATION ON THE NEWLY DISCOVERED BABYLONIAN INSCRIPTIONS .	xxiii, 62 p. [5] leaves of plates : illustrations.	29cm.
13	Wilks and Taylor	W. Robberds	Longman and Rees, Paternoster-Row, London	HUNTER, [Rachel]	LETITIA; OR, THE CASTLE WITHOUT A SPECTRE. BY MRS. HUNTER, OF NORWICH. IN FOUR VOLUMES.	I xvi, 384p; II 345p; III 342p; IV 360p.	12mo.

Year	Printer(s)	Publisher	Seller	Author's name	Full title	Pagination	Format
14	Taylor and Wilks	J. Johnson		Belsham, Thomas, 1750-1829	Elements of the philosophy of the mind, and of moral philosophy : to which is prefixed a compendium of logic	-	-
15	Davis, Wilks, and Taylor		Longman and Rees	Opie, Amelia Alderson	The father and daughter, a tale, in prose: with an Epistle from the maid of Corinth to her lover; and other poetical pieces. By Mrs. Opie	vii [i.e. vi], [2], 244p.	18cm. (12 ^{vo})
16	Wilks and Taylor	W. Robberds	Longman and Rees, Paternoster-Row, London	HUNTER, [Rachel]	THE HISTORY OF THE GRUBTHORPE FAMILY, OR THE OLD BACHELOR AND HIS SISTER PENELOPE. BY MRS. HUNTER, OF NORWICH; AUTHOR OF LETITIA. IN THREE VOLUMES.	I viii, 270p; II 310p; III 310p.	12mo.
17	Wilks and Taylor	J. Bell, No. 148, Oxford-Street	-	KELLY, Isabella	THE BARON'S DAUGHTER: A GOTHIC ROMANCE. BY ISABELLA KELLY, AUTHOR OF MADELINE, ABBEY ST. ASAPH, AVONDALE PRIORY, EVA, RUTHINGLENNE, ETC. IN FOUR VOLUMES.	I iv, 244p; II 212p; III 176p; IV 182p.	12mo.
18	Wilks and Taylor	R. Faulder, New Bond-Street	-	LAWRENCE, James	LOVE: AN ALLEGORY, TO WHICH ARE ADDED, SEVERAL POEMS AND TRANSLATIONS.	186, 2 p.	8vo. 18cm.
19	Wilks and Taylor	R. Faulder, New Bond-Street, and J. Hatchard, Piccadilly	-	ANON.	A LENITIVE AFTER LASHING; OR THE PICTURE-DEALERS' CONSOLATORY ADDRESS TO THE CONSUL GENERAL: ADMINISTERING AN EFFECTUAL ANTIDOTE TO THAT DELETERIOUS PAMPHLET, THE PAINTER'S LETTER TO NOEL DESENFANS; ESQ. LATE CONSUL GENERAL TO HIS MAJESTY THE KING OF POLAND IN GREAT BRITAIN.	[4], 24p.	20cm.
20	Wilks and Taylor	R. Faulder, New Bond-street	-	PALEY, William	NATURAL THEOLOGY: OR, EVIDENCES OF THE EXISTENCE AND ATTRIBUTES OF THE DEITY, COLLECTED FROM THE APPEARANCES OF NATURE.	xii, 586p.	22cm.
21	Wilks and Taylor	R. Faulder, New Bond-street	-	PALEY, William	NATURAL THEOLOGY: OR, EVIDENCES OF THE EXISTENCE AND ATTRIBUTES OF THE DEITY, COLLECTED FROM THE APPEARANCES OF NATURE.	xii, 586, [2] p.	8vo.

Year	Printer(s)	Publisher	Seller	Author's name	Full title	Pagination	Format
22	Unitarian Society for Promoting Christian Knowledge and the Practice of Virtue	Unitarian Society for Promoting Christian Knowledge and the Practice of Virtue	-	PRIESTLEY, Joseph	-	I [8], 214 p; II [4], 75, [1], 16, 24, 57, [3], 11, 14 p; III [8], 216 p; IV [4], 141, [3], 99, [1] p; V [4], viii, 232 p; VI [4], 23, [1] v; 36, [4] xvi, [1], 106, 82 p; VII [4], viii, 212, [2] v; [1], 79, [1] p; VIII [4], xi, [1], lxiv, 74, [2], 163, [1] p; IX [6], 36, 331, [1] p; X ix, [1], 338 p; XI [8], xxxvi, 383, [1], xl p; XII [4], 34, [1] 0, 205, [1] p; XIII [4], 28, iv, 224 p.	12mo.
23	Wilks and Taylor	J. White and J. Stockdale		Frederick Morton Eden	Eight letters on the peace and on the commerce and manufactures of Great Britain and Ireland	210p.	21 cm
24	Taylor and Wilks			[Martin Archer Sheel].	A letter to Noel Desenfans ... occasioned by the second edition of his Catalogue, and his answer to what he terms "The complaints of Painters." By a Painter	viii, 38p.	22 cm (8")
25	Wilks and Taylor	R. Faulder, New Bond-street	-	PALEY, William	NATURAL THEOLOGY - OR - EVIDENCES OF THE EXISTENCE AND ATTRIBUTES OF THE DEITY, COLLECTED FROM THE APPEARANCES OF NATURE.	xii, 586, [2] p.	22 cm.
26	Wilks and Taylor	Cutheil and Martin, Middle-Row, Holborn, and J. Murray, No. 32, Fleet-Street	-	ALDINI, Giovanni	AN ACCOUNT OF THE LATE IMPROVEMENTS IN GALVANISM, WITH A SERIES OF CURIOUS AND INTERESTING EXPERIMENTS PERFORMED BEFORE THE COMMISSIONERS OF THE FRENCH NATIONAL INSTITUTE, AND REPEATED LATELY IN THE ANATOMICAL THEATRES OF LONDON, BY JOHN ALDINI, PROFESSOR OF EXPERIMENTAL PHILOSOPHY IN THE UNIVERSITY OF BOLOGNA, MEMBER OF THE MEDICAL AND GALVANIC SOCIETIES OF PARIS, OF THE MEDICAL SOCIETY OF LONDON, ETC. TO WHICH IS ADDED, AN APPENDIX, CONTAINING THE AUTHOR'S EXPERIMENTS ON THE BODY OF A MALEFAC-TOR EXECUTED AT NEWGATE. &C. &C. ILLUSTRATED WITH ENGRAVINGS.	xi, [1], 221 pages, [3] pages (pages [223] & [224] advertisements), 4 leaves of plates : illustrations.	4to. 29 cm.

Year	Printer(s)	Publisher	Seller	Author's name	Full title	Pagination	Format
27	1803 Wilks and Taylor	R. Faulder, New Bond Street	-	PALEY, William	THE PRINCIPLES OF MORAL AND POLITICAL PHILOSOPHY.	2vols.	22cm.
28	1803 Wilks and Taylor	R. Faulder, New Bond-Street	-	PALEY, William	NATURAL THEOLOGY: OR, EVIDENCES OF THE EXISTENCE AND ATTRIBUTES OF THE DEITY, ; COLLECTED FROM THE APPEARANCES OF NATURE.	-	-
29	1803 R. Wilks	G. Kearsley, Fleet-Street	-	GOOD, John Mason	MEMOIRS OF THE LIFE AND WRITINGS OF THE REVEREND ALEXANDER GEDDES, LL. D.	xxiii, 547p. : port.	22cm.
30	1803 Wilks and Taylor	J. Bell, No. 148, Oxford-Street	-	ANON.	ALGERNON PERCY: OR THE VICTIM OF ENVY. A ROMANCE, INTERSPERSED WITH BALLADS; IN IMITATION OF THE ANTIENS. IN TWO VOLUMES.	I 187p; II 189p.	12mo.
31	1803 Wilks and Taylor	Thomas Hurst, No. 32, Pater-Noster-Row	-	[AUMONT, Mme. de] Pienne, Duchesse [d']	ITALIAN JEALOUSY: OR, THE HISTORY OF LADY GEORGINA CECIL. BY THE DUCHESS OF PIENNE. IN THREE VOLUMES.	I 296p; II 285p; III 345p.	12mo.
32	1803 Wilks and Taylor	Cutheil and Martin, Middle-Row, Holborn	-	[NOTT, John]	SAPPHO. AFTER A GREEK ROMANCE.	viii, 310p.	12mo.
33	1803 Wilks and Taylor	G. and J. Robinson, Pater-noster-Row	-	STAËL-HOLSTEIN, [Anne Louise Germanie] de	DELPHINE: A NOVEL. BY MADAME DE STAËL-HOLSTEIN. TRANSLATED FROM THE FRENCH, IN THREE VOLUMES.	I xxiv, 461p; II 357p; III 301p.	12mo.
34	1803 Wilks and Taylor (in Latin; Excuderunt Wilkes et Taylor)	-	-	Benjamin Hederich; Samuel Patrick; Johann August Ernesti; Thomas Morell; Thomas Taylor	GRÆCUM LEXICON MANUALE / PRIMUM A B. HEDERICO INSTITUTUM ; ... DENIGUE NUNC PRODEAT ... T. TAYLOR.	I online resource (1834 pages)from Princeton UL	-
35	1803 R. Wilks	W. Otridge & Son et al.	-	-	THE ANNUAL REGISTER, OR A VIEW OF THE HISTORY, POLITICS, AND LITERATURE, FOR THE YEAR 1802.	iii- viii, 1-906p ; 838p.	-

Year	Printer(s)	Publisher	Seller	Author's name	Full title	Pagination	Format
36	1804 R. Wilks	Thomas Taylor	E. Jeffery, and R. H. Evans, Pall-Mall	PLATO	THE WORKS OF PLATO, VIZ. HIS FIFTY-FIVE DIALOGUES, AND TWELVE EPISTLES, TRANSLATED FROM THE GREEK; NINE OF THE DIALOGUES BY THE LATE FLOYER SYDENHAM, AND THE REMAINDER BY THOMAS TAYLOR; WITH OCCASIONAL ANNOTATIONS ON THE NINE DIALOGUES TRANSLATED BY SYDENHAM, AND COPIOUS NOTES, BY THE LATTER TRANSLATOR; IN WHICH IS GIVEN THE SUBSTANCE OF NEARLY ALL THE EXISTING GREEK MS. COMMENTARIES ON THE PHILOSOPHY OF PLATO, AND A CONSIDERABLE PORTION OF SUCH AS ARE ALREADY PUBLISHED. IN FIVE VOLUMES. VOL. I [-V].	5 vols.	fol. 31 cm.
37	1804 R. Wilks	Thomas Taylor	E. Jeffery, and R.H. Evans, Pall-Mall	PLATO	THE WORKS OF PLATO, VIZ. HIS FIFTY-FIVE DIALOGUES, AND TWELVE EPISTLES, TRANSLATED FROM THE GREEK; NINE OF THE DIALOGUES BY THE LATE FLOYER SYDENHAM, AND THE REMAINDER BY THOMAS TAYLOR; WITH OCCASIONAL ANNOTATIONS ON THE NINE DIALOGUES TRANSLATED BY SYDENHAM, AND COPIOUS NOTES, BY THE LATTER TRANSLATOR; IN WHICH IS GIVEN THE SUBSTANCE OF NEARLY ALL THE EXISTING GREEK MS. COMMENTARIES ON THE PHILOSOPHY OF PLATO, AND A CONSIDERABLE PORTION OF SUCH AS ARE ALREADY PUBLISHED. IN FIVE VOLUMES. VOL. I [-V].	5 vols.	fol.
38	1804 R. Wilks	Thomas Taylor	E. Jeffery, and R. H. Evans, Pall-Mall	PLATO	THE WORKS OF PLATO, VIZ. HIS FIFTY-FIVE DIALOGUES, AND TWELVE EPISTLES, TRANSLATED FROM THE GREEK; NINE OF THE DIALOGUES BY THE LATE FLOYER SYDENHAM, AND THE REMAINDER BY THOMAS TAYLOR; WITH OCCASIONAL ANNOTATIONS ON THE NINE DIALOGUES TRANSLATED BY SYDENHAM, AND COPIOUS NOTES, BY THE LATTER TRANSLATOR; IN WHICH IS GIVEN THE SUBSTANCE OF NEARLY ALL THE EXISTING GREEK MS. COMMENTARIES ON THE PHILOSOPHY OF PLATO, AND A CONSIDERABLE PORTION OF SUCH AS ARE ALREADY PUBLISHED. IN FIVE VOLUMES. VOL. I [-V].	5 vols.	32 cm.

Year	Printer(s)	Publisher	Seller	Author's name	Full title	Pagination	Format
39 1804	R. Wilks	Thomas Taylor	E. Jeffery, and R. H. Evans	PLATO	THE WORKS OF PLATO, VIZ. HIS FIFTY-FIVE DIALOGUES, AND TWELVE EPISTLES, TRANSLATED FROM THE GREEK; NINE OF THE DIALOGUES BY THE LATE FLOYER SYDENHAM, AND THE REMAINDER BY THOMAS TAYLOR: WITH OCCASIONAL ANNOTATIONS ON THE NINE DIALOGUES TRANSLATED BY SYDENHAM, AND COPIOUS NOTES, BY THE LATTER TRANSLATOR: IN WHICH IS GIVEN THE SUBSTANCE OF NEARLY ALL THE EXISTING GREEK MS. COMMENTARIES ON THE PHILOSOPHY OF PLATO, AND A CONSIDERABLE PORTION OF SUCH AS ARE ALREADY PUBLISHED. IN FIVE VOLUMES. VOL. I [-V].	5vols.	4to. 32cm.
40 1804	R. Wilks	J. White	-	FELLOWES, Robert	THE GUIDE TO IMMORTALITY: OR, MEMOIRS OF THE LIFE AND DOCTRINE OF CHRIST, BY THE FOUR EVANGELISTS: DIGESTED INTO ONE CONTINUED NARRATIVE.	3vols.	23cm.
41 1804	R. Wilks	J. White	-	FELLOWES, Robert	THE GUIDE TO IMMORTALITY, OR, MEMOIRS OF THE LIFE AND DOCTRINE OF CHRIST, BY THE FOUR EVANGELISTS: DIGESTED INTO ONE CONTINUED NARRATIVE, ACCORDING TO THE ORDER OF TIME AND PLACE LAID DOWN BY ARCHBISHOP NEWCOMBE: IN THE WORDS OF THE ESTABLISHED VERSION, WITH IMPROVEMENTS; AND ILLUSTRATED WITH NOTES, MORAL, THEOLOGICAL AND EXPLANATORY; TENDING TO DELINEATE THE TRUE CHARACTER AND GENIUS OF CHRISTIANITY: IN THREE VOLUMES.	3vols.	23cm.
42 ca. 1804	Gosnell, Samuel	J. Barker	J. Barker	HOME, John	DOUGLAS: A TRAGEDY, AS WRITTEN BY MR. HOME: DISTINGUISHING ALSO THE VARIATIONS OF THE THEATRE, AS PERFORMED AT THE THEATRES ROYAL, REGULATED FROM THE PROMPT-BOOKS, BY PERMISSION OF THE MANAGERS.	47, [1]p.	12mo. 17.4cm.
43 1804	R. Wilks	R. Robertson	-	ROBERTSON, Robert	OBSERVATIONS ON THE DISEASES INCIDENT TO SEAMEN.	4vols.	-

Year	Printer(s)	Publisher	Seller	Author's name	Full title	Pagination	Format
44	R. Wilks	-	J. Bell, no.148, Oxford-Street; H.D. Symonds, Paternoster-Row; and S. Highley, no.24, Fleet-Street	[WARD, Robert Plumer]	THOUGHTS RECOMMENDATORY OF A COALITION BETWEEN THE GREAT PARLIAMENTARY LEADERS; IN A LETTER TO THE AUTHOR OF "A VIEW OF THE RELATIVE SITUATIONS OF MR. PITT AND MR. ADDINGTON," &C.	42p.	23cm.
45	R. Wilks	W. Lowndes	-	OWEN, Edward	THE COMMON ACCIDENT METHODISED AND ENLARGED; SUITED BOTH TO A COMMERCIAL AND LITERARY EDUCATION. ORIGINALLY DRAWN UP FOR PRIVATE USE. BY EDWARD OWEN, M.A. RECTOR OF WARRINGTON.	148p.	18cm.
46	R. Wilks	W. J. and J. Richardson	-	BELL, W.	A NEW COMPENDIOUS GRAMMAR OF THE GREEK TONGUE; IN WHICH THE ELEMENTS OF THE LANGUAGE ARE PLAINLY AND BRIEFLY COMPRISED IN ENGLISH. FOR THE USE OF SCHOOLS AND PRIVATE GENTLEMEN.	iv, 188p.	12mo. 16.7cm.
47	R. Wilks	W. Bridgman	J. White, Fleet-Street	BRIDGMAN, William	TRANSLATIONS FROM THE GREEK, VIZ. ARISTOTLE'S SYNOPSIS OF THE VIRTUES AND VICES. THE SIMILITUDES OF DEMOPHILUS. THE GOLDEN SENTENCES OF DEMOCRATES. AND THE PYTHAGORIC SYMBOLS, WITH THE EXPLANATIONS OF JAMBlichus. BY WILLIAM BRIDGMAN, F.L.S. TO WHICH ARE ADDED, THE PYTHAGORIC SENTENCES OF DEMOPHILUS, BY MR. THOMAS TAYLOR.	xvi, 135, [1] p.	20cm.
48	R. Wilks				Anno regni Georgii III ... quadragesimo quarto [c. 75]. -- An Act (passed 14th Jul. 1804) for enabling Subjects of Foreign States to enlist as soldiers in his Majesty's service. (Rules & articles for the better government of such of our forces as shall consist of natives of Foreign States.) Eng. & Ger.	xxxvii, 292p.	8°

Year	Printer(s)	Publisher	Seller	Author's name	Full title	Pagination	Format
49	R. Wilks	-	R. Robertson	ROBERTSON, Robert	OBSERVATIONS ON FEBRILE INFECTION, CONTAINING PRACTICAL REMARKS ON FEVER, WHETHER ARISING FROM MARSH MIASMATA, FROM HUMAN EFFLUVIA, OR FROM OTHER CAUSES; TOGETHER WITH BRIEF REMARKS ON OTHER DANGEROUS DISEASES INCIDENT TO SEAMEN. BY ROBERT ROBERTSON, M.D. F.R.S. F.A.S. MEMBER OF THE ROYAL COLLEGE OF PHYSICIANS; AND PHYSICIAN TO THE ROYAL HOSPITAL AT GREENWICH, IN FOUR VOLUMES.	4vols; folded tables.	8vo.
50	[1805]	Sherwood, Neely & Jones, Paternoster Row	-	HALE, Matthew	CONTEMPLATIONS, MORAL AND DIVINE. BY SIR MATTHEW HALE, KNT. LORD CHIEF JUSTICE OF THE COURT OF KING'S BENCH; TO WHICH ARE ADDED, FOUR LETTERS TO HIS CHILDREN, ALSO HIS LIFE AND DEATH, BY BISHOP BURNET, D.D. AND AN APPENDIX TO THE LIFE, INCLUDING THE ADDITIONAL NOTES OF RICHARD BAXTER, BY REV. T. THIRLWALL, M.A. IN TWO VOLUMES.	port., general table.	23cm.
51	R. Wilks	-	J. White; Fleet-Street; Rivington, St. Paul's church-Yard; Richardsons, Royal-Exchange; Faulder, Bond-Street; Hatchard, Piccadilly; and Nunn, Great Queen-Street	HALE, Matthew	THE WORKS, MORAL AND RELIGIOUS, OF SIR MATTHEW HALE, KNT. LORD CHIEF JUSTICE OF THE COURT OF KING'S BENCH; THE WHOLE NOW FIRST COLLECTED AND REVISED. TO WHICH ARE PREFIXED HIS LIFE AND DEATH, BY BISHOP BURNET, D.D. AND AN APPENDIX TO THE LIFE, INCLUDING THE ADDITIONAL NOTES OF RICHARD BAXTER, BY THE REV. T. THIRLWALL, M.A. EDITION OF THE LATIN AND ENGLISH DIATESSARONS. IN TWO VOLUMES.	port., fold. general tables.	22 cm.
52	R. Wilks	J. Bell	-	M., I. I.	AMATORY POEMS WITH TRANSLATIONS AND IMITATIONS FROM ANCIENT AMATORY AUTHORS.	xv [1], 64p.	16.9cm.
53	R. Wilks	J. Johnson	J. Johnson, St. Paul's Church-Yard; J. Murray, Fleet-Street; and at the small-pox and inoculation hospitals, Pancras	ADAMS, Joseph	ANSWERS TO ALL THE OBJECTIONS HITHERTO MADE AGAINST COW-POX.	[2], 35p.	8vo.

Year	Printer(s)	Publisher	Seller	Author's name	Full title	Pagination	Format
54	R. Wilks	J. Hatchard	-	GRIMSTON, Henry	AN APOLOGY FOR BELIEVING IN THE METALLIC TRACTORS: WITH SOME ACCOUNT OF THE PERKINEAN INSTITUTION FOR THE BENEFIT OF THE POOR. BY HENRY GRIMSTON, ESQ.	53, [3] p.	17 cm.
55	R. Wilks	J. F. Hughes, 5, Wigmore Street, Cavendish-Square	-	ANON.	THE MISTERIOUS SISTERS, A SPANISH ROMANCE. IN TWO VOLUMES.	I 6, 251p; II 190p.	12mo.
56	R. Wilks	J. F. Hughes, 5, Wigmore-Street, Cavendish-Square	-	GENLIS, [Stéph- anie-Félicité, Comtesse de]	ALPHONSINE; OR, MATERNAL AFFECTION. A NOVEL BY MADAME GENLIS. IN FOUR VOLUMES.	I 372p; II 309p; III 424p; IV 355p.	12mo.
57	R. Wilks	J. F. Hughes, 5, Wigmore Street, Cavendish-Square	-	LAFONTAINE, August [Heinrich Julius]; POWELL, [James] (trans.)	THE VILLAGE OF FRIEDEWALDE; OR, THE ENTHUSIAST A NOVEL, TRANSLATED FROM THE ORIGINAL GERMAN OF AUGUSTUS LAFONTAINE, BY J. POWELL. IN THREE VOLUMES.	I 230p; II 189p; III 174p.	12mo.
58	R. Wilks	J. F. Hughes, 5, Wigmore-Street, Cavendish-Square	-	[WÄCHTER, Georg Philipp Ludwig Leonhard]; POWELL, [James] (trans.)	WOLF; OR, THE TRIBUNAL OF BLOOD: A ROMANCE, FROM THE ORIGINAL GERMAN OF VET WEBER. AUTHOR OF THE SORCERER, BLACK VALLEY. &C. BY J. POWELL, TRANSLATOR OF "THE VILLAGE OF FRIEDEWALDE," &C. IN TWO VOLUMES.	I 193p; II 173p.	12mo.
59	R. Wilks	J. F. Hughes, 5, Wigmore-Street, Cavendish-Square	-	[?ZSCHOKKE, Johann Heinrich]	THE POLISH CHIEFTAIN: A ROMANCE. TRANSLATED FROM THE GERMAN OF THE AUTHOR OF "ABALLINO."	172p.	12mo.
60	R. Wilks	T. Cadell and W. Davies, Strand	-	ROBERTSON, Robert (1742-1829)	OBSERVATIONS ON FEBRILE INFECTION, OR FEVER, WHETHER ARISING FROM MARSH MIASMATA, FROM HUMAN EFFLUVIA, OR FROM OTHER CAUSES, TOGETHER WITH BRIEF REMARKS ON OTHER DANGEROUS DISEASES INCIDENT TO SEAMEN. BY ROBERT ROBERTSON, M.D. F.R.S. F.A.S. MEMBER OF THE ROYAL COLLEGE OF PHYSICIANS; AND PHYSICIAN TO THE ROYAL HOSPITAL, GREENWICH. IN FOUR VOLUMES.	4 vols. [Welcome: a new ed., much enl. and improved, in 4 vols. ... 1807]	8vo. 23cm. [Welcome: 22cm]

Year	Printer(s)	Publisher	Seller	Author's name	Full title	Pagination	Format
61	1807 R. Wilks	J. F. Hughes, Wigmore Street, Cavendish Square	-	CANTON, John	THE ENGLISH GIL BLAS; OR, THE ADVENTURES OF GABRIEL TANGENT, A NOVEL. BY JOHN CANTON, AUTHOR OF ALVAR AND SERAPHINA; OR, THE TROUBLES OF MURICA. IN THREE VOLUMES.	I 233p; II 232p; III 221p.	12mo.
62	1808 R. Wilks	W. Baynes; and Anne Davis		Fenning, Daniel	The young algebraist's companion; or, a new and easy guide to algebra, introduced by the doctrine of vulgar fractions. Designed for the use of schools, ... By Daniel Fenning.	xi, [1], 264p. New second edition	18cm. (12")
63	1809 Hodson, J. & E./ Wilks, R.	B. Crosby and Co. Stationers'- Court, Paternoster-Row	-	[GREEN, Sarah]	TALES OF THE MANOR, BY THE AUTHOR OF THE PRIVATE HISTORY OF THE COURT OF ENGLAND, &C. IN TWO VOLUMES.	I 270p; II 219p.	12mo.
64	1810 R. Wilks	J. Nunn [and 3 others]			An introduction to plane trigonometry.	20p, [1] folded leave of plates : illustrations; Price: 1s. 6d.	22 cm
65	1811 Robert Wilk	-	-	ARISTOTLE, Thomas Taylor trans.	THE GREAT AND EUDEMIAN, ETHICS : THE POLITICS, AND ECONOMICS, OF ARISTOTLE / TRANSLATED FROM THE GREEK BY THOMAS TAYLOR.	viii, 535p.	32cm
66	1811 R. Wilks	-		ADAMS, Joseph	Syllabus of a course of lectures on the institutes and practice of medicine	[4]64 p.	18 cm
67	1812 R. Wilks	-	-	MAY, Thomas	THE HISTORY OF THE PARLIAMENT OF ENGLAND, WHICH BEGAN NOVEMBER THE THIRD, M.DC.XL., WITH A SHORT AND NECESSARY VIEW OF SOME PRECEDENT YEARS	337p.	-
68	1814 R. Wilks	-	-	Society for the Encouragement of Arts, Manufactures, and Commerce (Great Britain)	A CATALOGUE OF THE MACHINES, MODELS, AND OTHER ARTICLES IN THE REPOSITORY OF THE SOCIETY INSTITUTED FOR THE ENCOURAGEMENT OF ARTS, MANUFACTURES, AND COMMERCE ...	24p.	20cm.
69	1815 R. Wilks	-	R. Bickerstaff	MASERES, Francis.	SELECT TRACTS RELATING TO THE CIVIL WARS IN ENGLAND, IN THE REIGN OF KING CHARLES THE FIRST / BY WRITERS WHO LIVED IN THE TIME OF THOSE WARS, AND WERE WITNESSES OF THE EVENTS WHICH THEY DESCRIBE.	2 v. (lxxxiii, 815p.)	24cm.

Year	Printer(s)	Publisher	Seller	Author's name	Full title	Pagination	Format
1815	R. Wilks	-	Baldwin, Cradock & Joy, et al.	POLEHAMPTON, Edward	THE GALLERY OF NATURE AND ART; OR, A TOUR THROUGH CREATION AND SCIENCE...	in 6 v. vol.6: 600pp+index 24p. First volume published in 1813.	-
1816	R. Wilks	-	Simpkin & Marshall	MALORY, Sir Thomas.	LA MORT D'ARTHUR ; THE MOST ANCIENT AND FAMOUS HISTORY OF THE RENOWNED PRINCE ARTHUR AND THE KNIGHTS OF THE ROUND TABLE	3 v. vol.1: xxiv+1,326; vol.2: xv,381; vol.3: xvi, 377, Advertise-ment:[379]-384.	12mo.
1816	R. Wilks	-	-	Royal Society of Arts (Great Britain)	PREMIUMS OFFERED IN THE YEAR 1816 BY THE SOCIETY INSTITUTED FOR THE ENCOUR- AGEMENT OF ARTS, MANUFACTURES, AND COMMERCE, IN THE ADELPHI, LONDON	30p.	-
1816	R. Wilks	-	-	James Ryan, director of coal mines.	A letter from Mr. James Ryan, . . . on his method of ventilating coal mines; for which he received the gold medal and 100 guineas from the Society for the Encouragement of Arts, Manufactures and Commerce, Adelphi.	3,1,[1] 4 leaves of plates : ill.	21 cm
1817	R. Wilks	-	E. Wilson; Rodwell and Co.; J. Booth; and all other booksellers	Simon Barthelemi Joseph Noel de La Morinière	Spanish America. Observations of an American upon the works of M. de Pradt, on the actual state of America.	[2], 76 p	21 cm
1818	R. Wilks	-	Baldwin, Cradock & Joy, et al.	POLEHAMPTON, Edward, GOOD, John Mason.	THE GALLERY OF NATURE AND ART; OR, A TOUR THROUGH CREATION AND SCIENCE...	6 v. Second Edition	-
1818	-	-	-	MILTON, John	THE HISTORY OF BRITAIN, THAT PART ESPECIALLY, NOW CALLED ENGLAND; FROM THE FIRST TRADITIONAL BEGINNING, CONTINUED TO THE NORMAN CONQUEST COLLECTED OUT OF THE ANCIENTEST AND BEST AUTHORS THEREOF.	xiii, 400p. ; port., geneal. Table	25cm.
1820	R. Wilks	-	-	-	A Defence of the People of England, in answer to the Emisaries of Popery, wherein the incompatibility of Papisis to incorporate with the legislation and freedom of the State is illustrated and explained	69 p	8°

Year	Printer(s)	Publisher	Seller	Author's name	Full title	Pagination	Format
78	R. Wilks	R. Wilks	Rodwell and Martin, J.M. Richardson	SYMMONS, J	THE CAUSES OF THE PRESENT DISTRESSFUL STATE OF THE COUNTRY INVESTIGATED AND THE SUPPOSED EASIEST, SPEEDIEST, AND MOST EFFECTUAL REMEDIES	viii, 168p.	-
79	R. Wilks	-	-	[collected by Charles Babbage]	SCRIPTORES OPTICI: OR A COLLECTION OF TRACTS RELATING TO OPTICS.	384, 139p.	27cm.
80	R. Wilks	-	J.M. Richardson	GERMANICUS [ROBINSON, Frederick John.]	ENGLAND'S HOPE AND FRANCE'S TERROR CONTAINING THE ELEMENTS OF A PLAN FOR REDUCING THE NATIONAL DEBT OF THE UNITED KINGDOM: IN A LETTER ADDRESSED TO THE CHANCELLOR OF THE EXCHEQUER	36p.	-
81	R. Wilks Jun,	-	-	Richard BENNETT, Gaming House Keeper.	Gaming Houses. Report of the Trials of the King against R. Bennett, Fred. Oldfield, John Phillips, and Thomas Cartos, and of the King against Charles Edward Rogier, and William Southwell Humphries, for misdemeanors in keeping common gaming houses, etc.	39p. Robert Wilksの息子による印刷	8°
82	R. Wilks	-	-	George COOKE Solicitor.	In the Court of King's Bench, The Northampton case. The King V. the Mayor and Corporation of Northampton, and the King V. George Cooke, Gent. Minutes of the proceedings ... in the Court of King's Bench, on the 9th and 10th days of June, 1828 ... taken down in short hand by J. A. Dowling.	47p.	8°
83	R. Wilks	R. Wilks	-	MANNING, William.	THE WRONGS OF MAN EXEMPLIFIED, OR, AN ENQUIRY INTO THE ORIGIN, THE CAUSE, AND THE EFFECT, OF SUPERSTITION, CONQUEST, AND EXACTION, SEPARATE AND UNITED AND THE INJUSTICE THEY HAVE OPERATED ON THE CONDITION OF MAN IN A STATE OF SOCIETY ... : WITH AN APPEND	x, 334p.	-

*印刷者名には表記方法が不統一の箇所があるが、原本の表記に従ったものである。リストは現時点で確認できた範囲に限り、今後増補版作成の予定である。本リスト作成にあたっては慶應義塾大学大学院修士課程中川健司君に協力いただいた。